

# 十和田市事務事業評価シート

## 【事務事業の概要】

整理番号	②-106	実施計画番号	132	事業開始年度	
事務事業名	林道の維持管理			事業終了年度	
担当課名	農林畜産課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等				関連事務事業	
背景や経緯等	森林整備に係る作業や林産物搬出の効率化を図るため、林道の管理を行い、必要に応じて維持補修等を実施する。				
事務事業の目的	林業生産環境の整備促進、木材等の林産物搬出の効率化を図る。				
実施状況	総合計画実施計画掲載事業のため記入しない。				

## 【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	2	2	2
	活動日数(日)	20	20	20
	人件費(千円)	1,440	1,440	1,440
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

## 【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		2,344	2,670	2,670

## 【指標】

活動指標	活動指標名①		通行可能延長			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		km	141	141	141	
	活動指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
成果指標	成果指標名①		通行可能延長			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
			目標値	141	141	141
			実績値	141	141	
			達成度(%)	100%	100%	
	成果指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
			目標値			
		実績値				
		達成度(%)				

# 十和田市事務事業評価シート

## 【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
<b>妥当性</b>	①	<b>市民ニーズ等から見る妥当性</b> 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>存在意義の見直しの余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 4</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">市が管理する林道は、市が維持管理することが妥当である。</td> </tr> </table>	<b>存在意義の見直しの余地</b>	<b>0 / 4</b>	市が管理する林道は、市が維持管理することが妥当である。	
	<b>存在意義の見直しの余地</b>	<b>0 / 4</b>								
市が管理する林道は、市が維持管理することが妥当である。										
②	<b>実施主体である妥当性</b> 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2	4					
<b>有効性</b>	③	<b>活動指標から見る有効性</b> 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>成果向上の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 6</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">台風等の災害時には、地域住民からの通報を受けた早急な現地確認、林道のパトロール等を行いできるだけ迅速に対応している。</td> </tr> </table>	<b>成果向上の余地</b>	<b>0 / 6</b>	台風等の災害時には、地域住民からの通報を受けた早急な現地確認、林道のパトロール等を行いできるだけ迅速に対応している。	
	<b>成果向上の余地</b>	<b>0 / 6</b>								
	台風等の災害時には、地域住民からの通報を受けた早急な現地確認、林道のパトロール等を行いできるだけ迅速に対応している。									
④	<b>成果指標から見る有効性</b> 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6					
⑤	<b>事務事業の見直しの余地</b> 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2						
<b>効率性</b>	⑥	<b>事業費の削減の余地</b> 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>コスト削減の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 6</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">災害時は、民間業者等による補修等の対応を迅速に行っている。</td> </tr> </table>	<b>コスト削減の余地</b>	<b>0 / 6</b>	災害時は、民間業者等による補修等の対応を迅速に行っている。	
	<b>コスト削減の余地</b>	<b>0 / 6</b>								
	災害時は、民間業者等による補修等の対応を迅速に行っている。									
⑦	<b>他の事務事業との統合・連携</b> 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6					
⑧	<b>民間委託等</b> 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	★	2						
<b>公平性</b>	⑨	<b>受益の偏り</b> 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><b>受益者負担適正化の余地</b></td> <td style="text-align: center;"><b>0 / 4</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2">市が管理する林道は、市が維持管理するべきである。</td> </tr> </table>	<b>受益者負担適正化の余地</b>	<b>0 / 4</b>	市が管理する林道は、市が維持管理するべきである。	
	<b>受益者負担適正化の余地</b>	<b>0 / 4</b>								
市が管理する林道は、市が維持管理するべきである。										
⑩	<b>受益者負担の見直しの余地</b> 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2	4					
<b>現在の適性</b>					<b>20 / 20</b>	<b>改善の余地</b>	<b>0 / 20</b>			

## 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

## 【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

**現状のまま継続**

### 方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

迅速な林道の維持補修への対応及び現場発生材等の効率的な利用によるコスト縮減を図る。

### 今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

総合計画実施計画掲載事業のため記入しない。